

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【土合小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

次年度に向けて
(3月)

年度末評価
(2月)

反映

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 算数「変化と関係」 <指導上の課題> 学年が上がるにつれ理解の定着率が低下している。修得した内容を活用させることで理解を確実にしていく必要がある。	⇒ 該当領域の学習時期に、授業の始めに前時の学習を振り返ったのちに本時の課題へつなげることで、既習内容の定着化及び既習内容を活用した学習へと関連付ける。【毎時間】 書き込み式ドリルやドリルパーク、習熟度に合わせたプリント等を活用した学習機会を確保することで、個々の課題に合った学習ができるよう指導する。【週に1度】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 国語「書くこと」算数「データの活用」 <指導上の課題> 国語では昨年度より課題として重点指導をしている。向上はみられているので、継続的な指導が必要である。算数はグラフの活用に関する学習活動の充実が必要である。	⇒ 国語では、書く活動に取り組む際、評価の観点ワークシートとして配付若しくは、データ上で閲覧可能にすることで常時確認できるようにするとともに、共同編集等を活用した協働的な学びの時間を設定する。【書く単元の際に毎回】 算数では、書き込み式ドリルやドリルパーク、習熟度に合わせたプリント等を活用した学習機会を確保することで、個々の課題に合った学習ができるよう指導する。【週に1度】

全国学力・学習状況調査
<小6・中3> (4月～5月)

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

結果提供(2月)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

結果提供(7月)

調査結果分析(7～8月)
①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)